

## 6. 皆様から頂いた譲渡動物写真紹介



新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した「動物愛護のついで in しっぽの森」において予定していた「譲渡動物写真展」について、皆様より多くの写真を送っていただきました。頂いた写真は館内に掲示しています。今回はその一部を紹介いたします。今年度の動物愛護週間にも譲渡動物写真展を開催したいと考えています。メールまたは郵便で、しっぽの森からの譲渡動物の写真と簡単なコメントを「譲渡動物写真展掲載希望」として送ってください。

さぬき動物愛護センター

〒761-0446 高松市東植田町1202-1 s-doubutuwaigo@pref.kagawa.lg.jp



さん太くん



りんちゃん・はなちゃん



きなこちゃん



りんちゃんと先輩のベルちゃん



小夏ちゃん



みやびくん



メルくん

さぬき動物愛護センター

vol. 3

# しっぽの森通信



さぬき動物愛護センター  
キャラクター: アイゴン

1. 譲渡後アンケート  
～結果としっぽの森の考え方～
2. 人と動物の共通感染症について
3. 子猫を飼うには…
4. 譲渡ボランティア活動報告
5. 新しい家族を迎えて  
～しっぽの森から譲渡した犬や猫たち～
6. 皆様から頂いた譲渡動物写真紹介

## 1. 譲渡後アンケート ～結果としっぽの森の考え方～

皆様から頂いた「譲渡後アンケート」の回答から、これから譲渡を受けようとお考えの方に参考にして頂きたい項目をピックアップしました。

アンケートの回答によると、犬や猫を飼い始めてよかったことについては「癒される」や「なついてくれた、かわいい」という回答が一番多く、そのほか「動物の命が救われた」や「家族の会話が増えた」とのご意見も多くいただきました。しっぽの森からの譲渡で、犬や猫の命が救われていることはもちろんですが、新しい家族が増えたことで、飼い主さんの暮らしが潤うことがあれば、しっぽの森としても大変うれしく思います。

また、飼い主になるにあたって心配だったこととして、「しつけに関すること」や「なついてくれるかどうか」、飼い始めて困ったことについては、犬についてはいたずらやしつけ、散歩、猫についてはいたずらのお悩みが多く寄せられました。

- いたずらについて** モノに対するいたずらは、片付けられるものは片付けることで緩和できます。また、しっかり遊んであげることで動物のエネルギーを発散させることも効果的です。
- 犬のしつけについて** 犬は「無視」されることを嫌います。犬が要求吠えをしたり、興奮しすぎて悪さをしたりするようときは、上手に無視し、犬が落ち着いてからご褒美をあげるなどしながら、しつけを行ってみてください。
- 散歩について** 散歩は単なる運動ではなく、飼い主との絆づくりの場です。可能であれば1日2回以上行き、しっかり気分転換を行うとともに、様々な刺激に慣れさせましょう。



しっぽの森では、頂いたアンケートを基に、新たにしっぽの森から家族を迎えるにあたってなるべくご心配の無いように譲渡前、譲渡後にアドバイスなどさせていただければと考えています。今後、新たにしっぽの森から譲渡を受けられた場合は、後日送付させていただきますアンケートへのご協力をお願いいたします。

## しっぽの森Instagramのご紹介

しっぽの森では、Instagramで譲渡動物やイベントなどの情報を発信しています。しっぽの森でトレーニングを頑張る犬や、ふれあいルームでつろぐ猫、イベント開催の様子など、様々な写真と共に、しっぽの森の様子をお伝えしています。

@sanuki\_shipponomori



是非一度、Instagram「しっぽの森\_さぬき動物愛護センター」をご覧ください。

さぬき動物愛護センター  
しっぽの森

〒761-0446香川県高松市東植田町1202-1

WEBサイトも随時更新中です!

TEL.087-849-1011 FAX.087-849-1022

さぬき動物愛護センターしっぽの森

検索



## 2. 人と動物の共通感染症について

今、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、新しい生活様式への移行が求められるなど、私たちの社会は大きく変わろうとしています。  
 新型コロナウイルスは、海外では人から猫などに感染したと考えられる事例が報告されています。また、これまでのところ、ペットから人に感染した事例は見つかっていません。  
 新型コロナウイルス以外でも、動物と接する際には普段から『人と動物の共通感染症』（人と人以外の脊椎動物の間で自然に移行する病気又は感染）に注意が必要です。



### ▼ 人と動物の共通感染症の種類（代表的なもの）

犬	狂犬病、エキノコックス症、イヌブルセラ症、犬糸状虫症、レプトスピラ症、皮膚糸状菌症、など
猫	猫ひっかき病、エルシニア症、カンピロバクター症、トキソプラズマ症、パスツレラ症、回虫症、Q熱など
鳥類	高病原性鳥インフルエンザ、オウム病など
は虫類	サルモネラ症など

### 犬の場合は、 まず登録と狂犬病予防注射

犬の登録と狂犬病予防注射の接種は、飼い主さんに法律で義務づけられています。登録と注射については、お住まいの市町の窓口にお問合せください。  
 香川県内であれば、香川県獣医師会の会員動物病院でも登録や狂犬病予防注射の接種が可能です。

### 動物と触れ合う際には必ず手洗いを

人も動物も、体には細菌やウイルスがいっぱい付着しています。動物にさわるときには動物に病気をうつさないため、動物にさわった後には動物から病気をうつされないために、必ず石けんなどで手を洗いましょう。

### 動物の身の回りは清潔に

動物が生活する場所（ベッドやトイレなど）は、いつも綺麗にしておきましょう。また、動物のシャンプーやブラッシングは、衛生管理として以外にも、動物とのスキンシップとしても有効ですので、定期的に行いましょう。

## 3. 子猫を飼うには…

しっぽの森や、ボランティアさんから子猫を譲り受けた場合など、子猫を飼うときにはいろいろと不安があるもの。子猫を飼い始めた方、これから飼おうとお考えの方、次のような点に注意してみてください。子猫は環境の変化にとまどい、とても不安を感じています。落ち着くまで、ゆっくり休ませてあげましょう。（ストレスになるので、慣れないうちは触り過ぎないように）

### トイレ

清潔で気持ちのよいものがあれば、自然と自分でするようになります。そわそわしたり、床を引っかく素振りを見てトイレに連れて行くのもよいでしょう。汚れたトイレで排泄するのはためらうので、こまめにお掃除を。

### 食事

子猫には子猫専用のものを。食事の回数は、子猫のうちは毎日3～4回、朝・昼・（夕）・夜が望ましいです。基本はドライフード。缶詰等やわらかいウェットフードを併用してもよいでしょう。食器は洗い替えも含めて複数あると便利。

### ブラッシング

毛並みを整えるだけでなく、普段気がつかない愛猫の異常を発見するよい機会です。特に換毛期（3月と11月頃）は念入りに。ブラッシングを怠っていると毛を飲み込み、体調を崩します。

### ケージ・キャリーケース

家を留守にするなど、ケージ内での飼養が望ましい場合も、小さい頃からケージ内で過ごすことに慣れさせておきましょう。また、病院などの外出時や同行避難といった「もしも」のときのためにも猫を安全に運ぶためにキャリーケースを用意しましょう。

### 寝床・寒さ対策

タオルや毛布を敷いて快適で暖かい寝床を用意しましょう。子猫は寒さにとても弱いです。冬場は暖房やペットヒーターを活用してください。

### 爪とぎ器・爪切り

子猫が柱や壁等で爪をとがないように、心地よい爪とぎを用意しましょう。また、小さい頃から爪を切ることに慣らしておきましょう。

### 猫のおもちゃ

猫じゃらし等で遊んであげましょう。スキンシップを図るとともに、運動にもなるためストレス軽減効果があります。



## 4. 譲渡ボランティア活動報告

このコーナーでは、譲渡ボランティアの活動を紹介します。今回は荻田真由美さんにお話を聞きました。

### ポスティング部 での活動

県内の個人ボランティアさんと一緒に、保健所に収容された迷子の犬猫の飼い主様を探す活動をしています。保健所から迷子情報を聞いてチラシを作り、保護場所周辺を一軒一軒回ってポストに入れていく、地味な活動です。それでも3割くらいの確率で飼い主様が見つかります。

チラシには「迷子になったら保健所や警察・役所に連絡を」と「首輪には鑑札を付け、名前と電話番号を記入」と書いており、啓発活動も担っています。

### ポスティング部の成り立ち

『殺処分を減らしたいけれど、これ以上自分では引き取ることができない。それでも何かできることはないかな?』という思いから、迷子犬猫のチラシ配りを始めました。近年はこの活動が少しずつ認知され、県外のボランティアさんからもポスティングの仕方を教えて欲しいと連絡が来るようになりました。この活動が広がり、迷子犬猫の収容が減ってくれることを願っています。

併せて、犬猫をセンターから引き取り、譲渡会の開催などもしています。子犬子猫に比べ成犬希望者様は少なく、毎回悪戦苦闘していますが、その分繋がった時の嬉しさは言葉では表せません。一度にたくさんの子を救うことはできませんが、一匹一匹を確実に幸せに繋げる活動をしていきたいと思っています。

### 香川県で活動して下さるメンバーさんを大募集!!

ボランティアに興味はあるけど「何をしたら良いかわからない」「犬猫を飼うことができない」といった方でも、誰でも簡単にチャレンジできる活動です。

Facebook: 荻田真由美  
<https://www.facebook.com/mayumi.ogita.5>  
 公式サイト: <https://posting1122.amebaownd.com/>  
 Twitter: [https://twitter.com/posting\\_1122](https://twitter.com/posting_1122)



### 譲渡 ボランティア って?

しっぽの森から犬・猫を譲り受け、人なれや、健康管理を行って新しい家族探しを手伝ってくださっている人たち。「譲渡ボランティアをやりたい」、「自分の家庭環境や住宅で、譲渡ボランティア活動ができるだろうか?」など、気になることがある方は、是非一度しっぽの森までお問い合わせください。

## 5. 新しい家族を迎えて ～しっぽの森から譲渡した犬や猫たち～

しっぽの森からお迎えしたほたるちゃんとの新たな生活を始められたKさん、また、メイちゃん、サツキちゃんとの新たな生活を始められたHさんからおたよりをいただきました。



Kさん  
より



Hさん  
より

3人の子供たちは毎日、室内のケージや庭で代わる代わる撫でたり遊んだり世話をしたり、様子を見てみんなで笑ったり慌てたり心配したり、さらに近所の子供たちも遊びに来てくれたり、多くの人に可愛がられています。病院の先生やスタッフさんにも、「とてもいい子だ。このまま変わらず大きくなってね。」と褒めていただきます。本当にほたるが家族になってくれてよかったです。引き合わせていただき、ありがとうございました。

二匹とも譲渡前は3キロくらいでしたが、今は12キロまで大きくなりました。ジャンプ力がすごく、ケージを飛び越えるくらい元気です。狂犬病ワクチンの接種と鑑札の交付も済みました。先日、避妊去勢手術も済み、元気に仲良く遊んでいます。二匹とも散歩が大好きで最低30分以上は歩いています。これからも仲良く家族として過ごしていきたいです。

